

アイデアソンのテーマと課題

「困った時に助け合うサービスをつくる」

どんな時、何に困るの？



A 乳児ママ



B 視覚障害者



C 車いす利用者



D 訪日外国人



E ビジネスマン



さまざまな人にとって
共通してみられた課題
から、助け合いを考える！

課題 1

わからない
a

それが、何なのかわからない

課題のあるシチュエーション例



B 視覚障害者

- スーパーで傷んでいる野菜がわからない
- コンビニで手にとったパンの中身がわからない



D 訪日外国人

- 日本の食べもの、何が入っているのかわからない

どんな人でも未体験のものに遭遇した時に、同様に起こりうる課題

課題 2

わからない
b

そこに書かれていることが
わからない

課題のあるシチュエーション例



D 訪日外国人

- 日本語だけの看板は何が書いてあるのかわからない



B 視覚障害者

- 初めていく食事処ではメニューの内容がわからない
- レシートに書いてある金額がわからないのでクレジットカードは不安

小さな文字が見にくい（老眼の）高齢者や、漢字未習得の子供達にとっても同様に起こりうる課題

課題 3

探せない
a

どこに行けば良いか、
探し出せない

課題のあるシチュエーション例



A 乳児ママ

- 今、空いている授乳室はどこ？
- 子供を連れていても安心な食事処はどこ？（座敷がある／騒いでも大丈夫）



E ビジネスマン

- 今、人が少ない場所はどこ？



D 訪日外国人

- 抹茶味のチョコレートを売ってる店はどこ？

その土地に馴染みのない訪問者などにとっても同様に起こりうる課題

課題 4

探せない
b

自分に役立つ情報を
探すのが大変

課題のあるシチュエーション例



C 車いす利用者

- 私が、電車に乗れるタイミングはいつ？（係員がいるのはいつ？）
- 私でも乗れるエレベーターが、動いている最終時間は？



A 乳児ママ

- この子供達と一緒に移動しやすいルートは？

特殊なアレルギーを持つ人や症例の少ない病気にかかっている人にも、同様に起こりうる課題

課題 5

辿り
つけない
a

行く手を阻む壁がある

課題のあるシチュエーション例



C 車いす利用者

- 段差があって、行きたいお店に入れない
- 段差があって降りられず、来た道を引き返す
- 新幹線に乗るのは大変



A 乳児ママ

- ベビーカーと子供を抱え、階段を使うのは大変

ケガをしている人、大き荷物を持った人にも同様に起こりうる課題

課題 5

辿り
つけない
b

ここで合っているか、
わからない

課題のあるシチュエーション例



B 視覚障害者

- 近くまで来ても、最終目的地に到達したことを確かめられない
- 電車の出発ホーム、何番線なのか数字で案内されないと確信がもてない



D 訪日外国人

- この電車に乗っていて、目的地に行けるのか不安

どんな人でも周囲の状況を把握できていない時に、同様に起こりうる課題